

平成 24 年度東海地区国立大学法人等職員基礎研修報告

技術室 実習工場班 佐々木俊亮
物理化学系班 牛田 敬子

1. 目的

東海地区の国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関に新規採用後、勤務経験が半年以上 2 年未満の者に対し、法人職員の心構え等を改めて習得させるとともに、共通して必要な業務遂行上の基礎知識及び能力を養成することを目的とする。

2. 実施日

平成 24 年 5 月 23 日（水）～ 5 月 24 日（木）

3. 主催

東海地区国立大学法人等機関 共催

4. 会場

名古屋大学東山キャンパス

5. 研修内容

〈5/23〉 開講式

1. 環境の変化と我々に期待される役割
2. ビジネスコミュニケーション
3. 効率的な仕事の進め方

〈5/24〉 4. チームワークの重要性とコミュニケーション

5. 今後の自己啓発
6. 総まとめ・質疑応答

閉講式

講師：（株）マネジメントサービスセンター

5. 所感

(佐々木)

本校技術職員に採用されて1年が経過し、職員の心構え等を改めて習得し2年目以降必要とされる基礎知識及び能力をつけるということで今回の研修に参加した。

研修内容は業務上必要とされるコミュニケーションやチームワークなどの大切さや要点を確認するためのグループワークが主となっていた。取り上げられる事例は事務職の業務内容に寄っていて直接自分の業務とは関係ない部分が多かったが、報告・連絡・相談の大切さや2年目以降の仕事として求められる役割など、参考にできる部分もあった。

最後に行った自己啓発のための自己分析では、自分の特性などを細かく分析し、またそれに対する第三者の意見も受けることができたので、今後の自己成長に活かせたらよいと思う。

(牛田)

この研修に参加してコミュニケーションの重要性を理解し、また様々なグループワークを実践してコミュニケーション能力の向上につながったと感じた。研修の内容で印象的だったのは、営業の仕事の事例を読み問題点と改善点をグループでまとめて発表するグループワークだった。初対面の人たちと話し合いをまとめていくことはとても難しく、模造紙にどのようにまとめるかなどより良い方法を考えていると時間がかかってしまったが、グループ内での討議や他のグループの発表を聞いて、報告・連絡・相談の重要性が理解できた。また、営業の仕事は具体的にどういうものか知らなかったので事例を読んでいて興味深かった。

グループ変えを何回か行ったので、多くの他高専や大学職員の方とも交流でき今後の業務へのよい刺激になった。